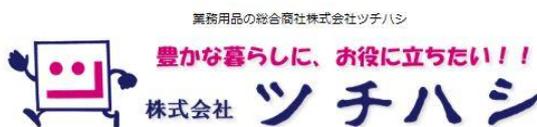


株式会社ツチハシ

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年10月1日～2024 年9月30日)



作成日： 2025年1月17日



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	P3
環境経営方針	P3
組織の概要	P4
事業・製品の紹介	P4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P5
主な環境負荷の実績	P6
環境経営目標及びその実績	P6
環境経営計画の取組結果とその評価	P7~P10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	P11
緊急事態対応訓練	P11
代表者による全体の評価と見直し・指示	P12
これまでの環境活動の紹介	P12

御射鹿池(茅野市)



地獄谷野猿公苑(山ノ内町)



雲場池(軽井沢町)



富士見高原のゆり



高遠城址公園(伊那市)



善光寺(長野市)



□ごあいさつ

信州の恵まれた自然環境の中に立地する当社は、総合日用品雑貨並びにホテル用品・業務用厨房用品・避難防災用品などを中心にホテル・旅館をはじめ公共施設、そして病院や福祉施設等に“豊かな暮らしに、お役に立ちたい！！”をモットーに日々営業活動を行っております。

営業活動を通して、当社の力を遺憾なく発揮しながらも環境に負荷をかけない事業を推進することを大切にしています。

エコアクション21をとうして、社内で役割分担し部門毎に環境に配慮した活動を展開していきます。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社ツチハシは、仕事を通じて環境に負荷をかけない活動を推進し、環境との共生そして調和に努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 当社は物を商う業であります。

環境に負荷をかけない商品仕入れの追及と、自社自身の事業活動の中で負荷を削減する取り組みを継続的に行います。

(1) 現状の事業活動を精査し、負荷をかけている点を一つ一つ改善致します。

(2) 二酸化炭素の排出量の削減に取り組みます。

① 電力使用量の削減

② 自動車燃料使用量の削減

(3) 廃棄物の削減及び再資源化を推進します。

① 自社の廃棄物の分別を推進し、会社全体の廃棄物量の削減と再資源化への取り組みをいたします。

② 仕入れの際の包装資材を削減します。

③ 紙資源使用量の削減に取り組みます。

(4) 水使用量の節減に努めます。

(5) 倉庫内の維持管理を行い、過剰在庫・不良在庫の削減を推進します。

(6) 環境に負荷をかけない商品を選び出し、弊社取扱商品の中により多く組み入れます。

2. 環境関連法規を遵守いたします。

3. この環境経営方針は、全社員に理解周知させ、徹底するとともに社外に対して公表します。



制定日：2019年3月7日

株式会社 **ツチハシ**

代表取締役社長 **土橋 英一**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ツチハシ
代表取締役社長 土橋 英一

(2) 所在地

本 社 長野県茅野市本町西4-25
松本営業所 長野県松本市筑摩4丁目22番19号
塩尻営業所 長野県塩尻市片丘7378

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部長 白鳥 雅彦 TEL:0266-72-7221
担当者 同上

(4) 事業内容

総合日用品雑貨・ホテル用品等の卸売業及び小売業

(5) 事業の規模

売上高 162,430 万円

	本 社	松本営業所	塩尻営業所	合計
従業員 名	24 名	4 名	1 名	29 名
延べ床面積 m ²	1,320 m ²	108 m ²	231 m ²	1,659 m ²

(6) 事業年度

10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

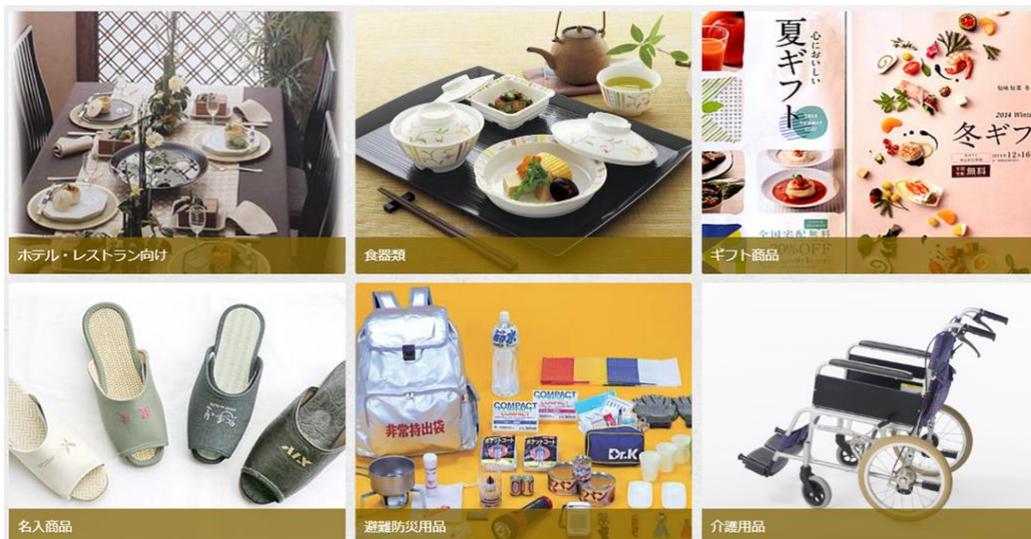
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社ツチハシ
対象事業所： 本 社
松本営業所
塩尻営業所

活動： 総合日用品雑貨・ホテル用品等の卸売業及び小売業

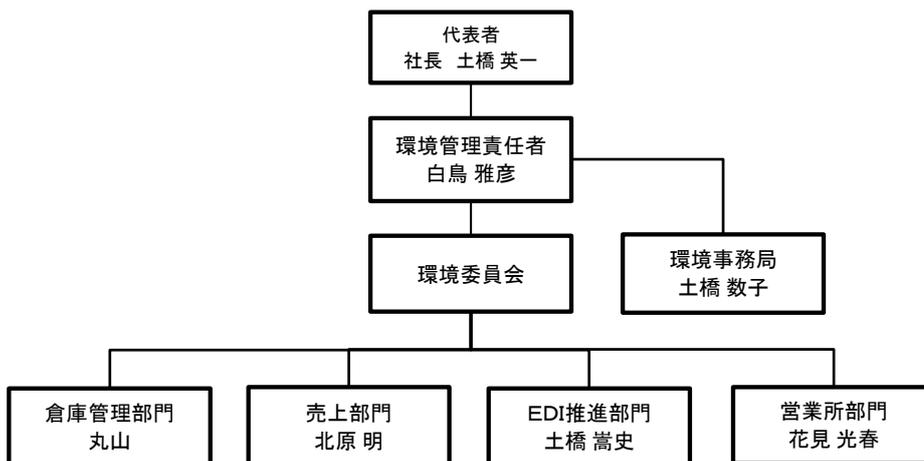
□事業や製品(商品)の紹介

豊かな暮らしに、お役に立ちたい！！をモットーに業務用消耗品・食器・厨房機器をはじめ、避難防災用品
ギフト用品・家具・燃料・ポリ袋など幅広い品ぞろえで地域のみなさまにお役に立てる卸店を目指しています。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年1月17日



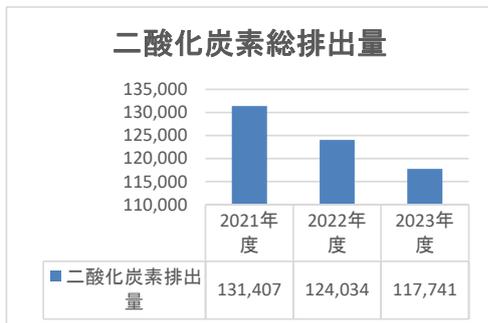
	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長 営業所長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門及び営業所における環境経営方針の周知 自部門及び営業所の従業員に対する教育訓練の実施 自部門及び営業所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門及び営業所に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門及び営業所の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 環境に関する内部監査の実施・報告



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	131,407	124,848	117,963
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	646	886	705
産業廃棄物排出量	Kg	0	0	0
総排水量	m ³	212	171	204

※二酸化炭素排出係数 0.44 kg-CO₂/kWh 中部電力会社の調整後の係数(2023年)



2023年度	係数	活動量	単位	排出量	割合
中部電力ミライズ	0.440	34,307	Kwh	15,095	13%
ガソリン	2.290	14,521	L	33,254	28%
軽油	2.620	25,739	L	67,437	57%
灯油	2.500	871	L	2,178	2%
合計				117,963	

◆二酸化炭素排出量 = 活動量 × 排出係数

- 活動量とは、使用した電力量や化石燃料使用量などを指す
- 二酸化炭素排出係数とは各事業者が毎年環境省に報告するCo₂算出のための係数

□環境経営目標及びその実績

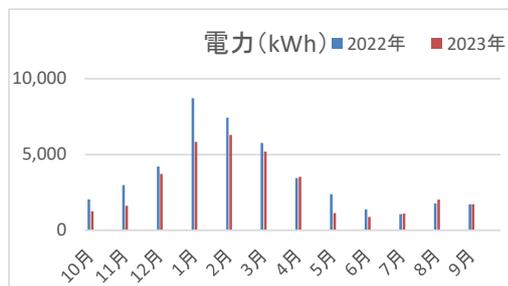
項目	年度	2022年		2023年		評価	2024年	2025年
		(前年度)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	18,865	18,676	15,095	○	18,488	18,299	
	基準年度比	2022年	99%	80%		98%	97%	
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,865	2,837	2,178	○	2,808	2,780	
	基準年度比	2022年	99%	76%		98%	97%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	103,118	102,087	100,691	○	101,056	100,025	
	基準年度比	2022年	99%	98%		98%	97%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	124,848	123,600	117,963	○	122,351	121,103	
一般廃棄物の削減	kg	886	877	705	○	868	859	
	基準年度比	2022年	99%	80%		98%	97%	
資源ごみの削減	kg	4,866	4,817	5,644	×	4,768	4,720	
	基準年度比	2022年	99%	116%		98%	0.97	
水道水の削減	m ³	171	169	204	×	168	166	
	基準年度比	2022年	99%	119%		98%	97%	
環境配慮型製品の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	0%	31%	○	0%	0%	
社内業務の効率化	行動目標(次項による)							
売上目標達成を推進	行動目標(次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

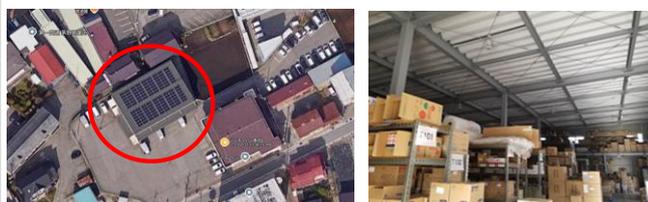
数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

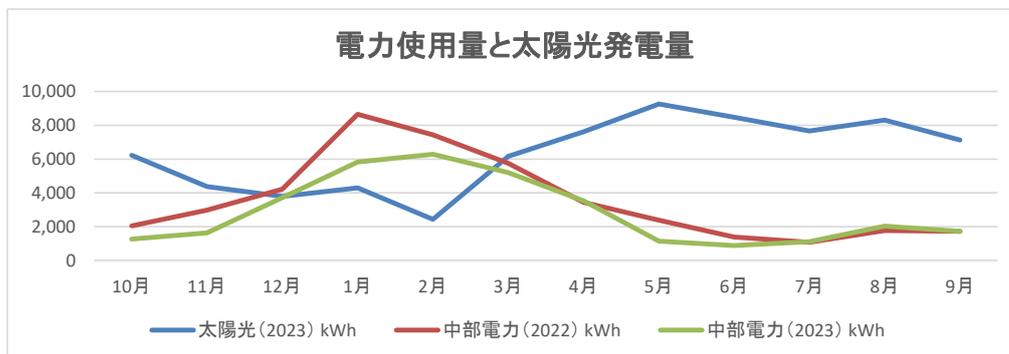
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	80%	【評価】2022年度後半に太陽光発電を導入。導入前と比較して20%削減されました。この値を基準値として次年度の目標値を算出します。 【次年度の取組】昨年と比較して使用量が20%削減されました。電力使用量は暖房を使用する12月～4月に多くなります。特にこの期間は業務の効率化を行い残業時間の削減をするようにしてください。
・空調温度の適正化(冷房23℃ 暖房23℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・定時退社の実施(毎週水曜日)	△	
定期的なエアコン清掃・点検	○	



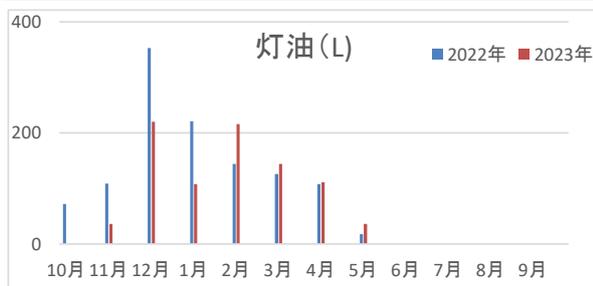
太陽光発電による自家発電を行っています。
未使用時の倉庫内消灯を行っています。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	2,039	2,978	4,209	8,708	7,437	5,755	3,438	2,383	1,378	1,071	1,766	1,713
2023年	1,259	1,623	3,717	5,826	6,284	5,202	3,534	1,136	878	1,100	2,031	1,717

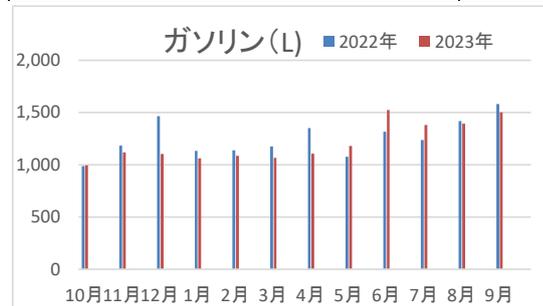


灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	76%	【評価】昨年と比較して23%削減されました。昨年は本社の灯油タンクを満タンにしました。本社では灯油はほとんど使用していないためこの分が値に繁栄されたと思います。営業所の使用状況は適正と思われず。【次年度の取組】効率の良い仕事を心がけることでパフォーマンスも上がります。残業時間が少なくなれば使用量も削減されます。
・温度の適正化(暖房26℃)	○	
・定時退社の実施(毎月2営業日)	△	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	72	109	353	221	144	126	108	18	0	0	0	0
2023年	0	36	220	108	216	144	111	36	0	0	0	0

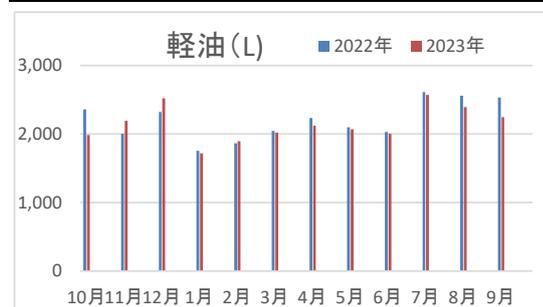
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	98%	<p>【評価】目標値に対して3%の削減になりました。売上に比例して使用量も多くなっています。</p> <p>【次年度の取組】車両を動かすことで燃料を消費します。顧客満足度を維持しながらメーカー直送を利用して効率の良い配送を心がけてください。燃費の良い車両導入も効果があります。営業車両を小型化することも検討してください。</p>
・給油量を記録し、データを蓄積する。	○	
・営業と配送分離による効率的な配車	○	
・毎週車両点検実施し記録する。	0	



毎週水曜日に車両点検を実施しています。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	987	1,183	1,465	1,134	1,140	1,175	1,351	1,075	1,318	1,238	1,418	1,581
2023年	995	1,119	1,103	1,063	1,088	1,067	1,106	1,180	1,525	1,381	1,393	1,503

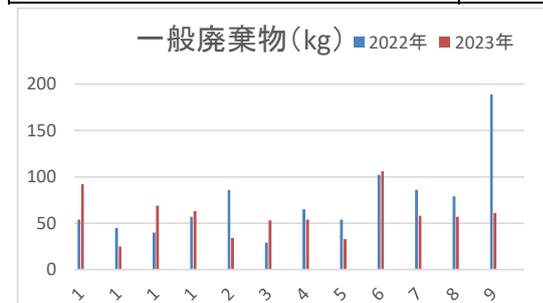


定期的な整備点検を行っています。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	2,361	2,005	2,322	1,755	1,863	2,047	2,234	2,099	2,032	2,612	2,559	2,533
2023年	1,987	2,193	2,520	1,719	1,896	2,021	2,121	2,070	2,003	2,570	2,392	2,248

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	80%	<p>【評価】目標値に対して20%の削減されました。【次年度の取組】ツチハンが排出する一般廃棄物は納品時に製品を梱包している資材と毎日の掃除で発生する可燃ごみがほとんどです。再利用できるものは利用しながら今後も適正に分別して出すようにしてください。</p>
・分別の徹底	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・梱包材の再利用	○	
・素材別の回収量の記録	○	

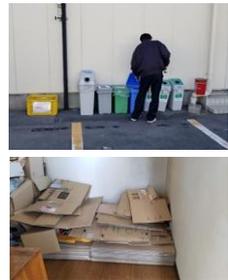
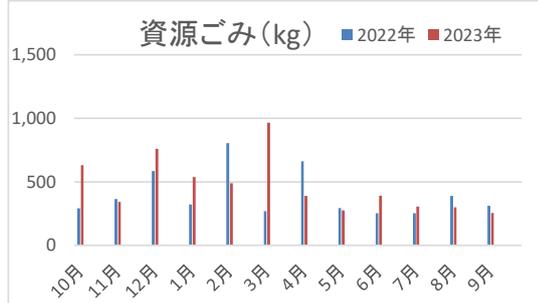


分別の徹底を行っています。
使用済みポリタンクの回収と再利用



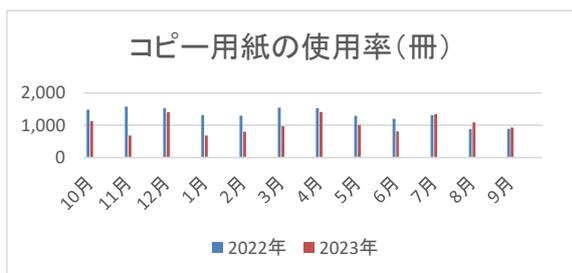
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	54	45	40	57	86	29	65	54	102	86	79	189
2023年	92	25	69	63	34	53	54	33	106	58	57	61

資源ごみの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	116%	【評価】目標値に対して16%の増加しました。【次年度の取組】ツチハシが排出する資源ごみは納品時に製品を梱包している資材がほとんどです。売り上げに比例して排出量が増減します。今後も適正な分別を行い処理を継続してください。
・分別の徹底	○	
・素材別ボックスの設置	○	
【中期計画】	○	

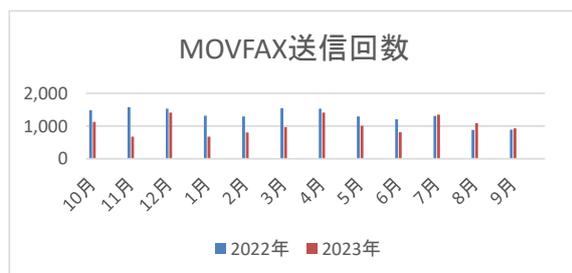


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	292	365	585	323	804	268	662	293	253	253	390	311
2023年	632	342	761	537	490	966	389	276	392	306	300	255

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	88%	【評価】昨年よりも減少しました。仕入先へのMOVFAXやメールによる発注や問い合わせが浸透してきたことが影響していると思われま。仕入先とインフォーマートを利用したBtoB取引も増え、送受信FAXは減少しています。【次年度の取組】FAX送信をプリントアウトせずPDF化して電子送信する事を今後も推進してください。機械の消耗やトナー削減が期待できます。次年度は業務の電子化を一步進め「取引先とのやり取りを極力メールにする」「受注データをプリントアウトしないで処理」を目標にコピー用紙使用率削減を目指して下さい。次年度導入予定の基幹システムに期待しています。
・MovFaxの推進	○	
FAX送信のためのプリントアウトの削減	△	
EDI受発注データのプリントアウト削減	×	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	238	402	1,005	580	612	879	1,005	1,090	1,238	1,320	1,411	1,527
2023年	92	404	694	404	517	608	694	914	932	1,079	1,176	1,346



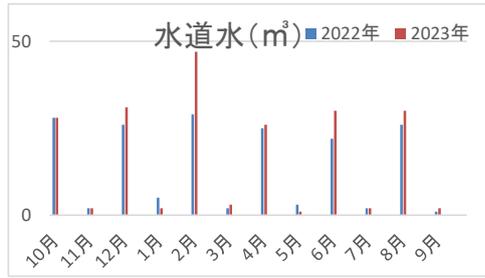
ウェブFAXの活用でコピー用紙とトナーの削減



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,479	1,580	1,527	1,317	1,295	1,542	1,527	1,291	1,204	1,312	880	887
2023年	1,127	678	1,413	678	801	966	1,413	1,012	808	1,347	1,089	926

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	119%	【評価】目標に対して20%増加してしまいました。2月に本社の使用量が多くなったことが原因です。原因を調べましたがわかりませんでした。【次年度の取組】自社は飲み水と水洗トイレの使用がほとんどのため削減が難しいと思われます。水の出っぱなしなど
水使用量削減	○	

に気をつけ節水を心がけてください。定期的なチェックを行い、使用量が前年度と比較して多くなっている場合は漏水などの可能性があります。必ず確認してください。



取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	28	2	26	5	29	2	25	3	22	2	26	1
2023年	28	2	31	2	47	3	26	1	30	2	30	2

環境配慮型製品の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】本年度は弊社お客様が施設で使用した紙コップのリサイクル事業を製紙メーカーと協力をスタートする事になり(株)ツチハシモこの事業に協力することになりました。施設から使用済みの紙コップを配送ルートで回収し製紙メーカーに引き渡す業務を行っています。【次年度の取組】使用済みの紙コップは水が多く含まれており、回収後に水抜きと回収ビニール梱包をしています。現在週1回ダンボール5~7個程度の回収ですが今後回収量が増えた場合は大きな負担となると予想されます。できるだけ手のかからない回収⇒引き渡しが課題となります。専用の回収BOXなどを準備するのなど検討してください。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
・環境にやさしい製品の仕入れと販売	○	
・	○	
・	○	

使用済み紙コップのマテリアルリサイクル事業に参加しています。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQCC175V10X10C24A600000/>
https://www.oji-rd.jp/wp-content/uploads/2023/11/20230627_02.pdf



回収紙コップ、紙タオルに
星野リゾート 王子HDなどと連携

星野リゾート(長野県 軽井沢)は7月から、同施設でハンドタオル日掃り施設(長野県 星野リゾート)と連携し、王子HD(長野県 星野リゾート)から回収した紙コップの再利用を開始しました。王子HDは、王子HD(長野県 星野リゾート)から回収した紙コップの再利用を開始しました。王子HDは、王子HD(長野県 星野リゾート)から回収した紙コップの再利用を開始しました。

社内業務の効率化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・営業と配送分離による効率的な配車	△	【評価】2023年度の売上高は2022年度と比較して10%UPすることができました。対して燃料使用量は3%ですが減少しました。効率化の影響が出ていると思います。今後も継続してください。EDI: 仕入先とのBtoBは増えており業務の効率化は推進できています。在庫管理: 基幹システムのリニューアルが次年度にスタートします。準備を着実に進めてください。職場の環境: 大きな変更はありませんでした。定時退社: 月2回の定時退社は定着してきました。継続してください。まだ配送の帰社が遅くなる等の問題があります。営業担当者は配送員が時間内に貴社でできるよう、作業工程の見直しをしてください。【次年度の取組】効率的な配車: できるだけ走行距離が多くならない効率的な配送ルール作りを検討してください。燃料価格が高騰している状況下では車両を効率的に動かす事で経費を節減できます。各自の効率化を進めてください。
・EDI(電子データ交換)による業務の効率化	○	
・在庫の入出庫管理	△	
・職場環境の効率化推進	○	

インフォマートによる顧客・仕入先との受発注を推進しています。



売上目標達成を推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・人材育成(製品勉強会)	○	【評価】売上目標を達成する事ができました。目標値8%に対し10%UPすることができました。【次年度の取組】円安と燃料高は現在も継続しており2024年度も厳しい状況は継続すると予想されます。次年度は今季以上に走行距離を増やさない努力と光熱費を
・HP更新(企業PRIによる顧客獲得)	○	
・カタログ配布推進	○	
・新製品・商品の発掘	○	

		削減する事が重要です。また、会社を継続していくためには売上高も大切ですが利益率が重要になります。まず利益率1%上げることを目標にしてください。また、社員は会社にとって大切な財産です。社員の健康診断の結果を考慮して健康維持できるよう指導するようにしてください。

安全運転講習会



ホームページの更新



製品勉強会



コミュニケーション勉強会



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン排出抑制法	業務用空調機
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ
高圧ガス保安法	炭酸ガスボンベ

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境上の苦情・要請等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 救命入門コース講習会	
■実施日: 2024年10月9日	■実施場所: 本社
■参加者: 本社25名	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> AED講習会 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓マッサージ <input checked="" type="checkbox"/> 人口呼吸	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
消防署職員2名に本社いただき救命入門コース(人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使い方)の講習会を行いました。90分のコースでしたが未経験者も多く大変有意義な講習会となりました。終了時に参加者全員に終了証が渡されました。	
■実施状況の様子	
	
	

緊急事態の想定: 油流出事故の発生	
■実施日: 2024年10月9日	■実施場所: 本社
■参加者: 本社:2名	■実施内容: 備品の確認
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
灯油タンクからの流出を想定し、排水溝を塞ぐための土嚢袋の確認を行いました。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年1月17日

＜情報＞
◇前回の指示への取組結果
前回の支持 会社が設定した売上目標は必達する。利益率の改善EA21及びSDGsの環境目標を達成する。EA21に取り込み精神を、今以上に啓蒙していく必要あり
◇自社を取り巻く環境問題の変化
WEB取引も増え競争相手が多く価格競争を強いられています。営業する為の商品知識とパソコンスキルの向上が必要です。営業の提案力を向上させる必要があります。
◇環境経営目標・計画の達成状況
二酸化炭素排出量は目標値前年対比98%に対し94%、売上高も目標値前年対比108%に対し110%となり目標計画を達成する事ができました。弊社の二酸化炭素排出量の87%が自動車燃料、12%が電気で占められています。化石燃料の使用をいかに削減できるかが今後の課題となります。
◇その他
売上高は上がっていますが利益率が上がっていません。次年度は利益率の改善を見直しする必要があります。



＜評価・見直し・指示＞
◇前年度取組結果に対して
売上と粗利に対する目標も、若干ながら伸ばすことができました。今後とも更なる上のステップに這い上がりをしましょう。
◇環境問題の変化に対して
次年度は新しい基幹電算を導入します。うまく活用しつつ更なる業務改善をしていきましょう。
◇環境経営目標・環境経営計画に対して
今期も目標に対して削減することができました。社員全員が、この削減の進捗状況が共有できているかという疑問です。公表する場を設定する必要があると感じます。
◇その他
わずかですが上昇しました。そのまま利益率上がるようにしましょう。

◇実施体制他
社員一人一人エコアクション21を会社で推進している事は認識していますが各々が率先して取り組むまでに至っていません。今後は一歩踏み込んだ取組を行えるようにしていきたいと考えます。

◇実施体制他について
不十分と感じます。朝礼時や全体会議の中で周知徹底するようにして下さい。全員が環境に負荷をかけない業務を徹底する共通認識を強く持つようにしていきましょう。

株式会社ツチハシ
代表取締役 土橋 英一

- | | | | |
|-----------|--|--|--------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり | |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり | 実績を踏まえて見直すこと |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり | |

□これまでの環境活動の紹介

奉仕清掃(6月、12月)



健康管理講習会



ラジオ体操(毎月第2火曜日)



本社倉庫



梱包材の再利用



□編集後記

【評価】社の年間活動計画に対してほぼ実行できたと思います。社員の中で仕事に対する責任感やモチベーションが上がってきています。社会の流れを敏感に感じ取り、各社員がその場の状況に応じて対応できる実行力のある会社を目指しましょう。これからは「社会から必要とされる企業であり続けられるか？」が大きな課題であると考えます。「社員一人一人が健康で働き甲斐のある会社」を目指し今後も「逆境をチャンスに変える会社」になりましょう。日々の積極的な新商品の紹介、新規開拓、効率的な時間の使い方、経費削減の積み重ねが結果につながると考えます。